



描かれた女性、その至高の美に出会う

女性像は画家にとって、とりわけ高い描写力や表現技術を要求される難しい題材のひとつです。それだけに、女性像は各々の画家の技量、感性が最大限に発揮された、画業の中でももっとも見ごたえのあるものといつてよいでしょう。

佐賀県出身の画家でいえば、日本近代洋画の巨匠として名高い岡田三郎助や、現代日本画家立石春美らが描く、優美で繊細な美しさをほこる女性像は、現在も多くの人々の心を惹きつけてやみません。県立美術館には、これらの画家の作品の観覧や展覧会開催の希望が常に寄せられています。

今回の「女性美の名品」展では、館蔵作品を中心に、佐賀ゆかりの画家岡田三郎助、立石春美らをはじめとした、女性像の名品の数々を展示します。

画家たちのすぐれた技術と感性の結晶である女性像、その至高の美をじっくりとお楽しみください。

- 1 会期 平成23年1月1日（土曜日）～2月13日（日曜日）
- 2 開館時間 午前9時30分～午後6時（入館は午後5時30分まで）
- 3 休館日 月曜日休館 ※1月3日、1月10日（月曜日）は開館、1月11日（火曜日）は休館。
- 4 会場 佐賀県立美術館 4号展示室
- 5 観覧料 無 料
- 6 展示資料 17人の画家による県立美術館所蔵、寄託の日本画8点 洋画21点
水彩画1点 フレスコ画1点 計31点
- 7 関連事業 学芸員によるギャラリートーク（参加料無料・事前予約不要）
（日時）1月3日（月曜日）午後2時から
1月22日（土曜日）午後3時から

(場所) 美術館4号展示室

平成22年度 美術館コレクション展 女性美の名品



岡田三郎助「少女読書」 館蔵



岡田三郎助「若き娘の顔」 寄託



立石春美
「早乙女」
館蔵

(出品予定作品)

No.	作品名	作者名	制作年代	材質	備考
1	日だまり	ラファエル・コラン	1896 (明治 29)	洋画	佐賀県立美術館蔵
2	西洋婦人像	岡田三郎助	1900 (明治 33)	洋画	佐賀県立美術館蔵
3	薊 (あざみ)	岡田三郎助	1908 (明治 41)	洋画	佐賀県立美術館蔵
4	若き娘の顔	岡田三郎助	1913 (大正 2)	洋画	寄託
5	花野	岡田三郎助	1917 (大正 6)	洋画	佐賀県立美術館蔵
6	少女読書	岡田三郎助	1924 (大正 13)	洋画	佐賀県立美術館蔵
7	坐婦	岡田三郎助	1929 (昭和 4)	フレスコ画	佐賀県立美術館蔵
8	涼々園にて	岡田三郎助	1935 (昭和 10)	洋画	寄託
9	台湾娘	藤島武二	制作年不詳	洋画	寄託
10	婦人像	高木背水	1915 (大正 4) 頃	洋画	佐賀県立美術館蔵
11	洋装の女	中沢弘光	1940 (昭和 15) 頃	洋画	佐賀県立美術館蔵
12	婦人像	山口亮一	1910 (明治 43)	洋画	佐賀県立美術館蔵
13	緑の庭	山口亮一	1926 (大正 15)	洋画	佐賀県立美術館蔵
14	髪をすく	御厨純一	1918 (大正 7)	洋画	佐賀県立美術館蔵
15	パリの踊り子	北島浅一	1922 (大正 11)	洋画	佐賀県立美術館蔵
16	横たわる裸婦	北島浅一	1927 (昭和 2)	洋画	佐賀県立美術館蔵
17	婦人像	清原重一	1914 (大正 3)	洋画	佐賀県立美術館蔵
18	朝	有馬さとえ	1957 (昭和 32)	洋画	佐賀県立美術館蔵
19	母子三代	古沢岩美	1952 (昭和 27)	洋画	佐賀県立美術館蔵
20	K子の坐像	石本秀雄	1968 (昭和 43)	洋画	佐賀県立美術館蔵
21	レッスン	村岡平蔵	1968 (昭和 43)	洋画	佐賀県立美術館蔵
22	婦人像	斉藤与里	制作年不詳	洋画	寄託
23	H氏像	中西利雄	制作年不詳	水彩画	寄託
24	伽羅	立石春美	1937-38 (昭和 12-13) 頃	日本画	佐賀県立美術館蔵
25	早乙女	立石春美	1947 (昭和 22)	日本画	佐賀県立美術館蔵
26	ピアノの前	立石春美	1950 (昭和 25)	日本画	佐賀県立美術館蔵
27	母子	立石春美	1953 (昭和 28)	日本画	佐賀県立美術館蔵
28	華の幻想	立石春美	1974 (昭和 49)	日本画	佐賀県立美術館蔵
29	井上傳女	立石春美	1977 (昭和 52)	日本画	佐賀県立美術館蔵
30	大文字	立石春美	1981 (昭和 56)	日本画	佐賀県立美術館蔵
31	羽化の刻	市丸節子	1988 (昭和 63)	日本画	佐賀県立美術館蔵